

平成22年2月16日（火曜日）第1号

○議事日程	3頁
○本日の会議に付した事件	3頁
○出席議員	3頁
○欠席議員	3頁
○説明のため出席した者	4頁
○職務のため出席した事務局職員	5頁
○開会宣告	6頁
○開議宣告	6頁
○日程第 1 会議録署名議員の指名	6頁
○日程第 2 会期の決定	6頁
○諸般の報告	6頁
○日程第 3 議案第1号から 日程第 7 議案第5号まで	6頁
○委員会付託省略の議決	7頁
○閉会宣告	14頁

平成22年五所川原市議会第1回臨時会会議録（第1号）

◎議事日程

平成22年2月16日（火）午前10時開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定
 - 第 3 議案第1号 平成21年度五所川原市一般会計補正予算
 - 第 4 議案第2号 平成21年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
 - 第 5 議案第3号 平成21年度五所川原市介護保険特別会計補正予算
 - 第 6 議案第4号 五所川原市小作料協議会条例を廃止する条例の制定について
 - 第 7 議案第5号 つがる西北五広域連合規約の変更について
-

◎本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

◎出席議員（27名）

1番	花田	進	議員	2番	井上	浩	議員
3番	片山	英幸	議員	4番	齊藤	一郎	議員
5番	山田	善治	議員	6番	伊藤	永慈	議員
7番	吉岡	良浩	議員	8番	成田	和美	議員
9番	鳴海	初男	議員	11番	平山	秀直	議員
12番	木村	博	議員	13番	田中	賢一	議員
14番	山口	孝夫	議員	16番	寺田	武造	議員
17番	古川	幸治	議員	18番	秋元	洋子	議員
19番	稲葉	好彦	議員	20番	磯邊	勇司	議員
21番	阿部	春市	議員	22番	桑田	茂	議員
23番	福士	寛美	議員	24番	木村	清一	議員
25番	野呂	國四郎	議員	26番	加藤	磐	議員
28番	川浪	茂浩	議員	29番	工藤	武則	議員
30番	葛西	収三	議員				

◎欠席議員（3名）

10番 高杉利彦議員
27番 三潟春樹議員

15番 松野武司議員

◎説明のため出席した者（30名）

市長	平山誠敏
副市長	三上裕行
総務部長	宮崎堅治
財政部長	佐藤文治
民生部長	三上隆
福祉部長	工藤勝
経済部長	島谷淳
建設部長	白戸幸一
金木総合支所長	中野博之
市浦総合支所長	関秀三
西北中央病院事務局長	平山耕一
水道事業所長	黒滝金光
会計管理者	三橋俊一
教育委員長	阿部育也
教育長	木下巽
教育部長	福井定治
選挙管理委員会委員長	川浪太刀男
選挙管理委員会事務局長	春藤光正
監査委員	山本將雄
監査委員局長	笹森英志
農業委員会会長	太田昭市
農業委員会事務局長	小田桐宏之
総務課長	工藤雄三
人事課長	佐藤方信

企 画 課 長	松 橋	洋
財 政 課 長	佐 藤	明
市 民 課 長	長 尾 晶	子
保 護 福 祉 課 長	今	眞
農 林 水 産 課 長	小 山 内 洋	一
土 木 課 長	菊 池	司

◎職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長 心 得	岩 川 静	子
次 長 ・ 議 事 係 長	竹 内 拓	人
議 事 係	山 中 健	聖

午前10時03分 開会

◎開会宣告

- 議長（齊藤一郎） ただいまの出席議員27名、定足数に達しております。
これより平成22年五所川原市議会第1回臨時会を開会いたします。
-

◎開議宣告

- 議長（齊藤一郎） 直ちに本日の会議を開きます。
本日の会議は、議事日程第1号により会議を進めます。
-

◎日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（齊藤一郎） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
会議録署名議員は、20番、磯邊勇司議員、21番、阿部春市議員、22番、桑田茂議員を指名いたします。
-

◎日程第2 会期の決定

- 議長（齊藤一郎） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。今臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。
よって、会期は本日1日と決定いたしました。
-

◎諸般の報告

- 議長（齊藤一郎） 次に、この際、諸般の報告をいたします。
市長より報告第1号から報告第4号まで4件の専決処分の報告がありました。以上の報告書はお手元に配付しておきましたから、御了承願います。
また、監査委員からは例月現金出納検査及び平成21年度工事定期監査の結果報告がありました。報告書は議会事務局に保管してありますので、御閲覧願います。
-

◎日程第3 議案第1号から

日程第7 議案第5号まで

- 議長（齊藤一郎） 次に、日程第3、議案第1号 平成21年度五所川原市一般会計補正

予算から日程第7、議案第5号 つがる西北五広域連合規約の変更についてまでの5件を一括議題といたします。

市長より提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（平山誠敏） 一登壇一

皆さん、おはようございます。平成22年五所川原市議会第1回臨時会に提出いたしました議案の概要について御説明いたします。

議案第1号は、平成21年度五所川原市一般会計補正予算であります。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億9,785万円を追加し、その総額を歳入歳出それぞれ298億5,045万6,000円とするものであります。

議案第2号は、平成21年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算であります。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ240万4,000円を追加し、その総額を歳入歳出それぞれ86億2,255万4,000円とするものであります。

議案第3号は、平成21年度五所川原市介護保険特別会計補正予算であります。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,985万円を追加し、その総額を歳入歳出それぞれ53億9,171万5,000円とするものであります。

議案第4号は、五所川原市小作料協議会条例を廃止する条例の制定についてであります。農地法の一部改正に伴い、五所川原市小作料協議会を廃止するため提案するものであります。

議案第5号は、つがる西北五広域連合規約の変更についてであります。広域連合の処理する事務について追加するため、規約の一部を変更するものであります。

本臨時会に提案いたしました議案は以上でございます。議員各位におかれましては、何とぞ御賛同賜りますようお願い申し上げまして、提案理由の説明といたします。

◎委員会付託省略の議決

○議長（齊藤一郎） お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案5件については、委員会付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、以上の5件については委員会付託を省略し、直ちに審議することに決しました。

○議長（齊藤一郎） 日程第3、議案第1号 平成21年度五所川原市一般会計補正予算を議題といたします。

質疑を行います。

1番、花田進議員。

○1番（花田 進議員） 補正予算の関係で、市債についてお伺いします。今回も耐震工事のために1億3,000万円ほどの市債が増額したわけですが、昨年度の決算では市債は23億円程度でありましたが、ことしは結局何回かの補正を積み重ねる中で約42億円の補正になっているわけで、大変借金の額がかさんできた。それで、質問ですが、この約42億円の中に国から今後交付金等で補てんされる金額はどのくらいあるのか。要するに借金の中でも市が負担しなくてもいい借金もあるわけで、その辺の具体的な金額を知りたいと、それから決算見込みとして今回42億円の市債になっていますが、減る見込みがあるのかどうかをお聞きしたいと思います。

次に、中央小学校の耐震工事についてであります。耐震診断をしたと思うのですが、その結果どのくらいの値で耐震工事をするに決定したのか。それから、今後その耐震工事の必要な学校はどういうふうになっているのか。予定、お金のこともありますが、耐震度の低いものについては急いで行わなければならないと思いますので、予定されている学校があるのかどうか。

それから3番目は、悪戸橋の改良を行うことになっているわけですが、大変S字型というのですか、まんじ型というのですか、危険なところでありまして、具体的にどんな橋の改良を行うのかお聞きしたいと思います。

○議長（齊藤一郎） 財政部長。

○財政部長（佐藤文治） まず、平成21年度一般会計におけます市債決算見込額からお答えいたします。

平成21年度一般会計当初予算では、市債額を借換債3億6,350万円を含む38億7,480万円といたしました。これに対して、12月定例会補正予算において1億7,460万円、本日提案いたしました補正予算で1億3,080万円を加え、さらに来月借りかえ予定の3月定例会においては7,530万円を補正する予定でございます。補正予算合わせて3億……来月の定例会において7,530万円を加え、補正予算で合わせて3億8,070万円の補正を図る予定であります。また、平成20年度からの継続費繰越事業、五所川原第一中学校体育館建設事業及び繰越明許事業、藤枝3号線改良事業、大町二丁目土地区画整理事業、中央小学校耐震事業にかかわる市債4億6,230万円の借りかえを図ることから、平成21年

度の市債の決算見込額は47億1,780万円を見込んでございます。この市債に占める交付税の算入の件でございますが、合併特例債は充当率95%で、交付税算入率が70%となっており、この部分が21億6,840万円の起債を見込んでいます。それから、過疎対策事業債は充当率100%、交付税算入が70%、これで1億2,920万円を見込んでございます。普通交付税の基準財政収入額に見込んだ法人市民税等の落ち込みにより許可される交付税算入率100%の減収補てん債は5,460万円、普通交付税にかえて許可される臨時財政対策債は9億8,584万7,000円となります。交付税算入がない地方債といたしましては、公営住宅建設事業債を9,970万円、退職手当債を2億7,000万円の発行を予定しております。平成21年度、先ほど言いました市債の決算見込額は47億1,780万円、これに対する交付税算入率は平均いたしますと65.4%を見込んでおります。この充当額ですが、30億5,130万5,000円を見込んでございます。

以上でございます。

○議長（齊藤一郎） 教育部長。

○教育部長（福井定治） 中央小学校の耐震の数値ということでございますけれども、中央小学校は建物、校舎を大きく2つに分けてございます。加えて屋内運動場ということで大きく3つに分けて診断してございます。専門的に申しますと、けた行き、それからはり間という2方向で診断してございますけれども、このうちけた行きの部分について1階、2階、3階に分けてございます。具体的な数値でございますけれども、耐震判定指標のISO値0.7に満たしていない箇所は1階の部分、数値で申しますと0.121という数値が算出されてございます。2階の部分については0.780、3階の部分については1.320ということで、1階の部分が大分弱いという判定になってございます。

それから、今後の予定の学校ということでございますけれども、現在判定の委託をしてございます五所川原第三中学校及び市浦中学校を予定してございます。

○議長（齊藤一郎） 建設部長。

○建設部長（白戸幸一） 悪戸橋改修工事の具体的な内容についてお答えいたします。

悪戸橋は、昭和55年に開設された橋梁であり、31年を経過し、交通量も多く、大分傷みも激しいことから改修工事を施行するものであります。工事内容としては、上部工である橋面工の主なものとして、防護さく撤去、新設、これは橋の欄干でございます。それから、伸縮装置の撤去、新設、それから車道及び歩道の舗装を、現在の舗装を撤去し、新たに復旧、敷設するものであります。そのほかに防水工であります。また、そのほかに床版工として、床版補修工として橋の上部工の裏面のほうに炭素繊維パネルを張りつけて耐久性を向上させる工事も行います。それとあとその床版工の表面処理工、その

ほかに橋げた、橋のけたがあるわけですが、そのけたが構げたでございますけれども、大分腐食、さびてもございますので、舗装の塗りかえを行います。また、下部工、橋台でございますが、橋台のほうの表面処理工等を予定してございます。

以上です。

○議長（齊藤一郎） 26番、加藤磐議員。

○26番（加藤 磐議員） 土木費、橋梁維持費、中島の遊歩道の事業についてお聞きいたします。

この橋をかけかえることについては、私ももちろん賛成であります。これからこのまちが進んでいく上で是非とも必要なものであり、また時宜を得たものであると考えております。そこで、この工事を進めていく場合に、前回の議案の説明会でもありましたけれども、橋の材料に使う木材、これをイペ材と申しましたか、余り聞きなれない名前も出てまいりました。もちろん全協では強い、地元のものを使うべきだという強い意見もあったわけですが、議決するに当たって市のほうにお尋ねいたします。まず、このイペ材なるものはどこの産の材料なのか。と申しますのも、今まで私ども金木町の時代でも外材といいますと大体寒いところの、今オリンピックやっているカナダとか、あるいはこの前新聞に出ていましたけれども、三内の縄文のやぐらが老朽化していると。この材料あたりはいわゆる同じ寒いロシアから来たクリと称する木であります。まだ20年もたたないうちに老朽して改修しなければならんと。そういう中で、この前の説明では非常にかたい木だということだけが強調されました。もちろんかたくて耐久性があれば結構なわけですが、まずこの機会に先ほど申しましたようにどこのどういう性格の木なのか、どこの産地なのか、まず1つお伺いしたいと。

それから、第2点としては、主としてこれから検討するということでしたけれども、どこに、検討する基本的な視点をどこに置いてこれからこの事業を進めていこうとされているのか、この2点についてお聞かせ願いたいと思います。

○議長（齊藤一郎） 建設部長。

○建設部長（白戸幸一） 加藤議員の中島遊歩道橋の改修工事に伴うイペ材、これは産地はどこなのかということでございますが、これは南米ブラジル、ペルーなど、アマゾン川流域に分布されている木材でございます。性質については、超硬質、非常にかたいものであると。それから、反りやひび割れが少なく、材の安定性が高いと。それから、耐水性、防虫性にすぐれ、一般に比重が1を超え、水に沈む、そういう木材でございます。

それから、これは議員説明会でも私お話ししましたけれども、この事業費として約2億6,300万円ほど予算見込んでおりますけれども、青森ヒバ材を使った場合、確かに額

もそれでおさまるのかという問題はあるのですけれども、ただ青森ヒバ材を購入するに当たっていろいろなルートもございましょうし、そういったことを今後できるだけ安く購入、手に入れることができないのかと、そういうことを関係機関といろいろと協議しながら、私の気持ちとしてはできるだけ地場産である青森ヒバを使った、そういう橋の改修工事を行いたいと思っておりますので、よろしく御理解いただきたいと思います。

○議長（齊藤一郎） 26番、加藤磐議員。

○26番（加藤 磐議員） 率直に申し上げますが、仮にそのイペ材なるものが非常にもちのよいもので、しかも安いとしても、この遊歩道の材料として使うには甚だ私は適切だとは思いません。イペ材そのものが例えばそれだけかたくてしっかりしたものであれば、まずそれをこれから確認されて、十分確認されて、隅っこにある小さいデータでなくて、恐らくそれだけ優秀なものであれば全国的に見てもかなり取り入れられているところがあるんでないかと推測できるわけであります。例えば千葉の湾岸にかかっている橋、いわゆるハマコーさんの道路とかなんとかと言われているようであります。そういう大きなプロジェクトあたりにも多分に使われている、そんなに評価の高いものであれば多分に使われている可能性があると思えます。ですから、そういう点もやはりよく実証していただきたい。私の言いたいのは、むしろその実証にかかる力を、時間を注ぐよりも、やはりここのまちのこの地域の市浦の、あるいはこの津軽の材料を使うのが正道ではないか。例えば余計なことを申し上げるのですけれども、十三の景色というのはシジミと同様に景色そのものが絵になっている場所であります。ちょっと古い話になって恐縮ですけれども、たしか二、三十年前、津軽じょんがら節という映画がございました。その冒頭のシーンに出てきたのが十三の冬景色であります。これは、この映画はその年のキネマ旬報のベストワンに選ばれた、事実的なナンバーワンの映画であります。また、思いつくままに申し上げさせてもらいますと、長部日出雄さんでも市浦の安東水軍をテーマにした消えた城塞という非常にロマンのある、そしてまたこの地域に住む者にとっては誇りになる小説を發表されていると、そういう点からあの遊歩道、中島にかかった橋の木が地球の裏側から来た木の上に立ってみるんでなく、はっきりしゃべればテープカットのときでも平山市長があっちの木の上さ上がってテープカットしている姿は私は見たくない。したはんで、右顧左べんさねんで、ここのものに自信を持って、そしてその一本道で進めていただきたい。そうなれば例えば営林署あたりにでも別個に金木時代にも経験ありますけれども、営林署というのは公共物に対しては非常に協力、理解があるところだ。したはんで、原木を安くしてもらおうとか、そういう形で、そういうほうに時間をとっていただきたいと、かように思うわけであります。

以上であります。

○議長（齊藤一郎） 市長。

○市長（平山誠敏） 加藤議員の思いは十分わかりました。私も今のイペというのは初めて聞く名前で、どういう木材かわかりませんが、コンサルタントのほうからこの木がいいということで推奨されたようでございます。ただ、我が国の木材の自給率、たしか20%を切っているような状況でございまして、やはりこの地域の誇り得る青森ヒバをこれから使っていきたいと思っております。今その設計変更等やりますけれども、多分予算内でおさまるのではないかというふうに思っておりますし、ぜひ青森の代表する青森ヒバでございまして、あの中島の遊歩道には県産材を使用していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○議長（齊藤一郎） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 質疑を終結いたします。

討論の通告はありません。

採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

○議長（齊藤一郎） 次に、日程第4、議案第2号 平成21年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算を議題といたします。

質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 質疑を終結いたします。

討論の通告はありません。

採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

○議長（齊藤一郎） 次に、日程第5、議案第3号 平成21年度五所川原市介護保険特別会計補正予算を議題といたします。

質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 質疑を終結いたします。

討論の通告はありません。

採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

○議長（齊藤一郎） 次に、日程第6、議案第4号 五所川原市小作料協議会条例を廃止する条例の制定についてを議題といたします。

質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 質疑を終結いたします。

討論の通告はありません。

採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

○議長（齊藤一郎） 次に、日程第7、議案第5号 つがる西北五広域連合規約の変更についてを議題といたします。

質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 質疑を終結いたします。

討論の通告はありません。

採決いたします。

本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（齊藤一郎） 異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもって今臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

◎閉会宣告

○議長（齊藤一郎） これにて平成22年五所川原市議会第1回臨時会を閉会いたします。

午前10時33分 閉会

署 名

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成22年2月16日

五所川原市議会議長 齊 藤 一 郎

五所川原市議会議員 磯 邊 勇 司

五所川原市議会議員 阿 部 春 市

五所川原市議会議員 桑 田 茂